

ライブ

SMBC日興IRフォーラム2019

レポート
REPORT

9024

西武ホールディングス

Seibu Holdings

執行役員 経営企画本部 IR部長
中川 義秀 氏

西武グループの成長戦略

会社概要・プロフィール

● 歩み

- 1912年 前身の武蔵野鉄道設立
鉄道、ホテル・レジャー、不動産を事業の柱として発展
- 2006年 西武ホールディングス設立
「峻別と集中」をテーマに抜本的な経営改革
- 2014年 東京証券取引所第一部上場
- 2016年 東京ガーデンテラス紀尾井町、ザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町開業
- 2018年 グランエミオ所沢Ⅰ期開業
- 2019年 新型特急車両「Laview」デビュー
ダイヤゲート池袋開業

● 事業概要

- 2019年3月期営業収益5,659億円、
営業利益733億円
- ①都市交通・沿線：同1,630億円、同270億円
- ②ホテル・レジャー：同2,198億円、同197億円
- ③不動産：同696億円、同200億円

業績・数値目標

● 業績推移と実績

- 2019年3月期：7期連続増収
営業利益・経常利益：過去最高更新
- 2020年3月期第2四半期
営業収益：6期連続増収
営業利益：3期連続増益、第2四半期過去最高更新
- 増収の主要因：
 - ①ホテル：宿泊と食堂部門の収益向上
 - ②分譲マンションの引き渡し
 - ③鉄道旅客運輸収入の増加
 - ④埼玉西武ライオンズの観客動員数増加
 - ⑤ハワイ事業：ホテル収益向上

● 中期経営計画「持続的かつ力強い成長に向けて」

- 持続的成長と大規模投資へ財務体質改善の両立
- 2022年3月期計画：営業収益6,148億円、
営業利益757億円、償却前営業利益(EBITDA)
1375億円、ネット有利子負債8,565億円

成長戦略

● 成長戦略①：西武鉄道沿線の価値向上

- 駅周辺開発：池袋駅 ダイヤゲート池袋
所沢駅 グランエミオ所沢、所沢駅西口開発計画
- 鉄道利便性・安全性向上：新型特急車両「Laview」
デビュー、「拝島ライナー」(有料座席指定列車)運行
開始、新宿線連続立体交差化推進、ホームドア整備
- 魅力ある観光地・目的地開発：秩父・川越 西武秩父駅
前温泉 祭の湯、TVCMIによるPR
飯能 ムーミンバレーパーク開業に合わせ駅リニュー-
アル
メットライフドームエリアの改修

● 成長戦略②：プリンスホテル

- 国内最大規模の売上を誇るホテルチェーン
- 事業環境：2018年の訪日外国人は3,119万人と過去最
高更新
- これまでの取り組み：ホテルのバリューアップ
(リニューアル)、需要に合わせたレベニューマネジメント、
より高単価な地域・マーケットへ営業強化
- 2019年3月期までの過去6年間に平均販売室料約40%、
客室稼働率約10ポイント上昇と収益性大幅向上
- 新規開業：
海外：オーストラリアのホテル運営会社「StayWell」の
事業取得
国内：会員制ホテル、次世代型宿泊特化ホテル開業

● 成長戦略③：都心保有資産の有効活用

- 都心(高輪・品川、芝公園)に保有する約470,000㎡
の不動産の大規模再開発で収益力を顕在化

株主還元・配当政策

● 設備投資や財務体質のバランスを鑑みつつ株主還元

- 成長投資優先だが、安定継続配当を実施
(配当性向20%目安)
- 300株以上所有株主様に年2回、株主優待乗車券
(西武線・西武バス)と施設利用優待券を贈呈
- 埼玉西武ライオンズや西武鉄道などで様々な
株主様向けのイベントを実施